

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	29	学校名	仙台市立小松島小学校	校長名	遊佐 亮
------	----	-----	------------	-----	------



1 取組のテーマ「豊かな自然づくりに向けて」

本校では豊かな自然づくりに意識を向けることができるようになるためには緑を身近に感じる環境が必要だと考え、以下のような活動を行いました。



2 取組の紹介

○環境委員会による緑化の取組

委員会活動として年に2回季節ごとに花苗を植えました。(夏植え：サルビア、バーベナ、マリーゴールド、ペゴニア 秋植え：パンジー、チューリップ、クロッカス、ヒアシンス) 花に大切にする意識を持ってもらえるように注意を促すポスターの掲示も行いました。

○自然に触れる学習活動

4年生を中心にヘチマを教材とした理科学習を行いました。校舎の1階から3階にかけてヘチマによる緑のカーテンを作りました。4年生では、どうすると枯れてしまうのか、緑を増やすには自分たちに何ができるかを考えながら学習しました。5年生では雄花と雌花を使って受粉の学習をしました。

1・2年生では、学級園で野菜を育てる活動を行いました。1年生ではサツマイモ、2年生ではトマト、キュウリ、スイカ、ピーマンを生活科で育てました。それらが育っていく様子をワクワクしながら観察しました。



○エコ学習

各教室に「燃えるごみ」と「プラスチックごみ」のごみ箱を設置し、分別や資源の再利用を心掛けています。

4年生では、社会科「すみよいくらしを作る」の単元で実際に松森清掃工場に行き、ごみの処理の仕方や資源の再利用を学びました。工場に集められたごみの量に驚き、どのようにすれば出るごみの量を削減できるか真剣に考えました。3Rのパンフレットや推進ポスターで啓蒙を図りました。

6年生では家庭科で「エコクッキング」を行いました。調理では「食材」「加熱の工夫」「省エネな調理法」、食事では「食べ残しを減らす」、片付けでは「節水」「生ごみの捨て方」を意識して料理に取り組みました。実際のエコが実感できました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

4年生での学習を生かして燃えるごみとプラスチックごみと自分で判断して分別する様子が見られ、ごみの分別を行う習慣が定着してきていることが感じられます。また、6年生がエコクッキングでは実際に経験したことにより「エコは特別なものでなく、簡単にできる」ことへの理解につなげることができ、児童の姿から学習の深まりが感じられました。

グリーンカーテンは校庭からよく見える場所にあり、さらに広いため、4・5年生以外の学年の児童も大きくなるヘチマに興味をもって観察し、新たな発見を報告する姿も見られました。来年度は理科や生活、総合の学習のみならずカリキュラム全体をデザインしてさらに自然やエコに興味を広げられるような活動を模索していきたいと思えます。